

宇城市 議会だより

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

22号

2010年8月



読みたい本はありましたか？市内を巡回する移動図書館車『うきうき号』 ◆豊野保育園にて



発行・編集／宇城市議会

TEL 0964-32-1111(代) FAX 0964-34-3557

CONTENTS

審議した議案等とその結果	2
委員会報告	2
一般質問	4
議会の主な動き	8

●審議した議案等とその結果

●報告

番 号	件 名	年 月 日	審議の結果
第 3 号	平成 21 年度宇城市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	H22.6.11	報 告
第 4 号	平成 21 年度宇城市土地開発公社の経営状況の報告について	H22.6.11	報 告
第 5 号	平成 21 年度三角町振興株式会社の経営状況の報告について	H22.6.11	報 告
第 6 号	平成 21 年度不知火温泉有限会社の経営状況の報告について	H22.6.11	報 告
第 7 号	平成 21 年度有限会社アグリパーク豊野の経営状況の報告について	H22.6.11	報 告

●議案

第 33 号	宇城市地域審議会の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H22.6.23	原案可決
第 34 号	宇城市職員の育児休業等に関する条例及び宇城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H22.6.23	原案可決
第 35 号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	H22.6.23	可 決
第 36 号	平成 22 年度宇城市一般会計補正予算（第 1 号）	H22.6.23	原案可決
第 37 号	平成 22 年度国民健康保険宇城市民病院事業会計補正予算（第 1 号）	H22.6.23	原案可決

●同意

第 7 号	監査委員の選任について（宮崎 治己氏）	H22.6.23	同 意
-------	---------------------	----------	-----

●請願

第 2 号	議員報酬の引き下げを求める請願書	H22.6.23	閉会中の継続審査
-------	------------------	----------	----------

●陳情

第 4 号	小川 BS スマートインターチェンジ（仮称）建設事業の促進に係る要望書について	H22.6.23	採 択
-------	---	----------	-----

●議員提出議案

第 5 号	非核三原則の早期法制化を求める意見書の提出について	H22.6.23	原案可決
第 6 号	口蹄疫問題に関する総合的な対策を求める意見書案	H22.6.23	原案可決
第 7 号	小川 BS スマートインター整備特別委員会の設置について	H22.6.23	8 人の委員で構成する特別委員会を設置
第 8 号	熊本天草幹線高規格道路整備特別委員会の設置について	H22.6.23	
第 9 号	戸馳大橋整備調査特別委員会の設置について	H22.6.23	

委員会
報告

今定例会に提案された議案の審査のため開催された常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

総務常任委員会

●地域審議会の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「審議会は平成20年度開催なし。21年度は小川地区では協議がなされたが、他の4地区では協議事項が無く報告のみであったから、条文の『年1回以上開催する』を『必要に応じて開催する』に改正することは、今後は開催しなくても良いという方向に進むのではないか」との質疑に対し、「決してそういう意味合いの条例改正ではない。10年間は新市建設計画に基づいた行政がなされているかを監視

していただいて、行政が気付かない点があれば、審議会の委員の皆様から開催の要求をしていただいた上で、協議を行っていただきたいと思っています。審議会の開催をしないようにする条例改正ではない」との答弁があった。

●平成22年度一般会計補正予算（第1号）

○駅周辺開発推進事業費について

「今回の補正に300万円が計上してあるが、なぜこの時期なのか。また、内容は何か」との質疑に対して、「今後事業を進める上で、国の交付金が必要であり、本年3月に国土交通省所管の社会資本総合整備交付金の要綱が明らかになったため、今回の補正でお願いをすることになった。内容は交付申請書に添付するための委託料である」との答弁があった。

「宇城市公共交通連携協議会において、現在できている松橋駅周辺開発計画と違う案が出た場合には変更



JR 松橋駅舎

ができるのか」との質疑に対して、「公共交通の総合的な見直しと駅周辺開発事業に対しての整合性は、今後公共交通連携協議会の中で、十分検討していけるものと思っています」との答弁があった。

建設経済常任委員会

●平成22年度一般会計補正予算（第1号）

○林業総務費の有害鳥獣駆除に係る増額補正について

「タイワンリスの生息数は今のところ確認できていないとの説明を受けたが、どのような根拠で予算を計上しているのか。また年間の捕獲数は何匹くらいになるのか」との質疑に対し、「生息数は正確には把握

できていないが、年間1300匹くらいは捕獲しないと増え続ける。最低でもこの数を捕獲できれば現状が維持でき、被害を最低限に抑えられるとした予算計上である。また捕獲数は、昨

年度が141匹、本年度は6月現在で829匹の捕獲があっている。生息区域は、三角町郡浦から宇土市網田を結んだ線くらいまでは生息していると思われる」との答弁があった。また委員から「宇土市との連携はどうなっているのか」との質疑に対しては、「宇城市と宇土市とは足並みをそろえて対応しなければならぬと思っている。現在、県を中心に協議会を立ち上げ、詳細に協議し、宇土市との歩調を合わせながらやっていくことで一致している。市単独の予算のみならず、県にも補助金の要請をしているところである」との答弁があった。さらに委員から「有害鳥獣の被害については農家の自己防衛を含め、ワナ講習会への補助金や捕獲報奨金の増額を考慮しながら、本格

的に取り組むべき」との意見に対し、執行部からは「そのためには当然予算も必要となるので、今後も協議しながら精一杯取り組んでいく」との答弁があった。

○特殊地下壕対策事業費について

「本市で確認してある地下壕は、47か所と聞いているが、これは市で管理しているのか。危険性がある箇所は再度調査すべきと思うがどうか」との質疑に対し、「平成17年の調査で、地元区長からの届出で、三角町18件、不知火町14件、小川町10件、豊野町5件、合計47件が、現在市が把握している数である。これは個人で造った地下壕であり、個人管理となっている。今のところ、行政で造った地下壕は確認されていない。今後再調査を行いたいと考えている」との答弁があった。

民生常任委員会

●熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

●平成22年度一般会計補正予算（第1号）

○児童福祉費について

「子ども手当費の賃金が報酬に組み替えてあるように見受けるが、その理由は何か」との質疑に対し、「当初、子ども手当の支給にあたり、事務補助のため臨時職員一人を任用する予定であったが、1年間取り組むことにより、非常勤職員として任用する必要が生じたため、賃金から報酬に組み替えるものである。財源は、子ども手当事務費交付金を活用している」との答弁があった。

●平成22年度国民健康保険宇城市民病院事業会計補正予算（第1号）

○資本的収入及び支出の建設改良費について

「今回、全身用CT装置を購入することだが、その機器の選定方法をどのように考えているのか」との質疑に対し、「国内でCT装置を製造している会社は4社ほどあり、その中で画面の精度、操作性、価格等を評価項目として評価する総合評価方式を念頭に置き、どのような選定方法で取り組むのか、現在病院内で先生方と協議をしている」との答弁があった。



文教常任委員会

●平成22年度一般会計補正予算(第1号)
○教育総務費について

国際理解教育特区に取り組み、国際交流が始まったわけだが、現在の状況とその成果、また今後はどうするのか」との質疑に対し、「7月に中国南寧市から修学旅行で中学生約40人が2日間に来た。本市を訪問の予定である。成果としては、改めて語学の大切さを感じ、普段の勉強に結びついた生徒がほとんどである。今後は、このように成果も上がってきているので、継続をしていきたい」との答弁があった。

「平成21年度からの継続事業として、不登校解消の目的で県から自立支援実践モデル事業の委託を受けているが、不登校は何人もいるのか」との質疑に対し、「平成20年度は70人程度いたが、21年度は大幅に減少し、41人であり、そのうちのほとんどが中学生である。なお、不登校ではないが、不登校ということで、学校には来るが教室に入ることができず、保健室等で過ごす子どもは多数いる」との答弁があった。

○社会教育費について

「移動図書館車の巡回コースはどのようなになっているのか。また、その利用状況はどうか」との質疑に対し、「市内34か所を7コースに分け、月2回巡回している。利用状況は、4月が44人で25冊、5月は66人で1743冊の実績であった」との答弁があった。



移動図書館車『うきうき号』

UKI-CITY ASSEMBLY REPORT 一般質問 UKI-CITY ASSEMBLY REPORT

河野 一郎 議員

「地震災害について」

問 大規模災害に備え、自らの地域は自ら守る自主防災組織の結成と食糧の備蓄が必要不可欠であるが、考えを問う。

市長 不知火支所以外には備えが無い。今後緊急事態の備えを計画したい。

総務部長 自主防災組織の結成率が非常に低い。今後の目標として、全町、全行政区に組織する意気込みを進めたい。

「水害について」

問 市中心部内水対策について、松橋地区の市事業と防潮水門の排水機設置県事

業の進捗状況を問う。

経済部長 市事業は機場設置の用地買収が完了、本年度末に竣工予定。また、県事業は防潮水門敷地内に毎秒3tの排水機を設置し、竣工を市と同じ年度末に予定している。

問 不知火地区十五社、松崎区内水調査をされ、その結果に基づき、「抜本策の究明を図りたい」と市長は答弁されているが、3月議会当初予算に計上されていない。地域住民の願いをかなえるためにも、9月議会に予算を計上し前へ進めるべきと思うが、考えを問う。

市長 状況は承知しており、『早急な予算措置』をしたい。

「子育て支援について」

問 乳幼児医療費等助成事業、子ども医療費の年齢拡大について、まずは、宇土市並みの小3までの医療費助成、そして段階を追って完全無料化を進めるべきと思うが、考えを問う。

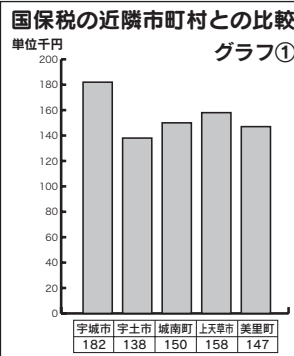
平成18年度～平成21年度 熊本市町村乳幼児医療費等助成事業

●熊本市町村の入院・通院に対する補助対象推移状況数集計

	就学前	小学1年まで	小学3年まで	小学6年まで	中学3年まで	計 (市町村の数)
平成18年度	42	1	1	1	3	48
平成19年度	34	0	8	3	3	48
平成20年度	23	0	12	5	7	47
平成21年度	20	0	10	8	9	47

備考) ①平成20年度から富合町は熊本市と合併

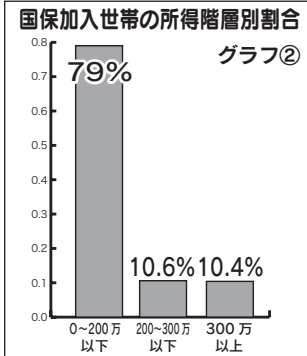
②入院・通院の数は同じ



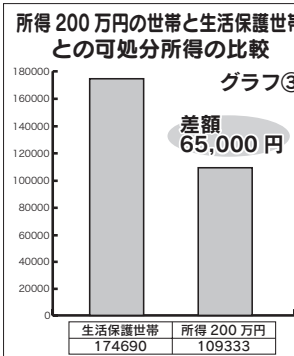
宇土市とは世帯当たり4万4千円違い、上天草市より2万7千円高い。国保世帯の所得の構成比を教示願う。

市民環境部長 年所得100万円未満が54.2%と低所得者が過半数を超えていると言える。

問 数字では分かりにくいので、所得階層を三つに分けグラフ②を作成した。



200万円以下の所得が全体の79%となっている。では、所得200万円以下の世帯とはどのような状況なのかグラフ③を作成した。



グラフのとおり生活保護世帯より悪い。何とかしなければいけないと思うかどうか。

市長 財政的にも検討し、更に勉強していきたいと思う。

「水道料金について」

問 市民は水道料金が高いと言っている。公共料金という考え方が水道運営にどう反映されているのか。

土木部長 独立採算が基本だが、政策的に料金設定されているのがほとんどである。

問 政策的に考えないと水道代は周りとうまくいかな。どのように考えているのか。

市長 指摘のとおりであり、大変悩んでいる。水は大事なものであるから、本市全

体の財政を健全化し、安全に運営できる体制を作るのが私の使命と考えている。

中山 弘幸 議員

「透明性のある入札制度の確立について」

問 本市において最大の問題点、課題は異常に高い落札率であると思う。これにより、市民が莫大な損害を被っている。最近の建築物は、ほとんどの落札率が96%から98%。これは異常な数字で、どう見ても健全な競争原理が働いているとは思えない。談合が行われているという証拠はないが、不自然な結果である。この異常に高い落札率、ここにメスを入れない限り入札制度の改革はできないし、財政の改革もできない。この原因はどこにあるか。また、この対策は。

市長 市長に就いて昔の調査もしている。しかし比率からすれば、決して高い結果だとは思っていない。しかし現実として、今のやり方、方法によってかわりが

あるとすれば、更に勉強して公平公正にやっていきたいし、安くなるように対応していきたい。

問 これまで何回となく条件付一般競争入札について問題を取り上げてきたのは、これこそが入札制度改革の本丸と考えるからである。今回、本市で海東小学校と小野部田小学校の改築工事(合計約13億1860万円)が指名競争入札で行われ、2校とも96%を超える高い落札率で落札された。仮に条件付の一般競争入札を採用し競争性が高まり、落札率が5%下がれば約6600万円、10%下がれば約1億3000万円の税金が節約されたことになる。結果として市民は多大な損害を被ったことになる。市長はこの結果をどう受け止めるか。

市長 いろんな論議をした中で、ベストな方法は一般競争入札かもしれない。しかし、今私たちを取り巻く社会環境は厳しい。途中で倒産したらどうなるか。夜を徹して職員と論議をした

結果、安心安全な状況でやりたいし、地元の業者を育成する意味からも厳正に判断をしたつもりである。

尾崎 治彦 議員

「焼却場跡について」

問 旧三角町焼却場の解体・撤去を考えるべきではないか。

市民環境部長 昭和55年建設から30年経過しており、煙突部分の傷みが激しく、危険な状態である。全体では約8000万円、煙突だけでは約1500万円の費用がかかる。近隣住民の不安を解消するため、県等とも協議しながら解体・撤去に向けて早急に対策を検討していく。



旧三角町焼却場

「乗合タクシーについて」

問 利用状況を問う。

企画部長 海東路線は平成21年度の利用者総数は4281人、1日当たりの平均は17.7人。戸馳路線の今年4月から1か月間の利用者総数は215人、1日当たり平均は10.2人。両地区とも、経費削減に効果がある。今後は、地域の実情に沿った運行形態を検討し、使い勝手の良い乗合タクシーの運行に取り組んでいきたい。

問 戸馳は、三角小学校へ通うスクールバスの利用が可能ではないか。

教育部長 スクールバスに住民の乗車は、通学に支障がない範囲であれば可能である。

「花の学校について」

問 経営診断の結果はどうだったのか。

経済部長 事業継続と廃止の二つの方向性が出た。まず継続の場合は、①設備、人材投資をある程度大規模にしないと入園者・売上増

につながることは難しい。②指定管理者へ移行し、募集を行う。廃止の場合は、①物販、喫茶店等は撤去し、ランの温室の賃貸は続ける。②売却。③公園化、または更地として売却する。今後はこの診断をもとに地域の活性化の向上、観光開発、財源面等を考慮しながら施設の方角性を判断していく。

「福祉行政について」

問 地域福祉・活動計画はどのような内容か。

健康福祉部長 支援が必要な人々が地域の中で生活する上で、解決すべき課題を明らかにするとともに、そのために必要なサービスや書類を提供する体制を整備することを目的とする社会福祉法に基づく行政の計画である。

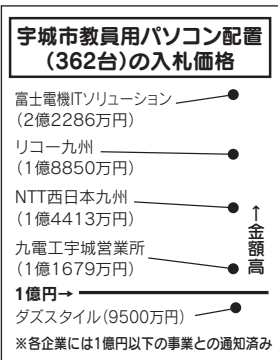
豊田 紀代美 議員

「教育環境の整備について」

問 ICT環境整備事業校務用パソコンの業者選定について、仕様書には総事業費1億円以内を想定していると

あるが、応札した5社の企業名と入札価格の報告を求む。

教育部長 (株)NTT西日本九州熊本(営)1億4413万7700円、富士電気ITソリューション(株)福岡支店2億2286万8380円、リコー九州(株)熊本支社熊本西(営)1億8850万円、(株)九電工宇城(営)1億1679万円、(株)DAZZ・STYLE9500万円。



問 入札価格1億円以下は1社のみである。2倍の入札価格など一般常識では考えられない。他の企業は落札を考えていないのはいか。再度公募し、プロポーザル方式での応札実施の判断はなかったのか。

教育部長 審査委員会9人で価格を含め提案内容を総合的に判断し決定するが、発注側の意向に沿う提案が

ない場合には全社採用せず、再度募集も選択肢の一つである。

問 教員一人1台のパソコン配置をされたが仕様書どおりの設置がなされていない。セキュリティは万全ではなく、情報漏えいの危険性が十二分に考えられる。再度研修を望む。

教育部長 個人情報漏えいの危険性があり、パスワードロック等、データの暗号化を再度指導する。

問 物品購入等の入札契約に係る情報公表要綱の早急な制定と議決に必要な入札資料等の事前配付が次回定例会から可能か。

総務部長 契約に対する市民の信頼確保等を図る観点から公表要綱を制定する計画で、制定後は資料提供も可能である。

「動画配信について」

問 地域振興、災害時の情報把握、イベント、議会中継の動画配信はできないか。YouTubeだと手間がかかるが、iPhoneとUSTREAMだと簡単に

安く費用対効果も良い。

企画部長 現段階ではYouTubeを利用した動画によるPR事業を活用し、本市の魅力 را 配信する体制づくりを検討している。

長谷 誠一 議員

「市民の森づくり構想について」

問 ふるさとの川(準用河川)の保全対策について問う。土木部長 地域住民の生命財産を守るとともに地域の環境整備を図るため河川のしゅんせつや護岸の整備を行っている。自然環境を保全し、潤いと安らぎのある河川整備を行う。

問 荒廃農地再生化対策について問う。

経済部長 耕作放棄地は464haあるが、中山間地等直接支払制度に取り組んだ39集落については、集落活動で耕作放棄地の拡大は食い止めたと評価する。農政課では農業委員会と連携し、国、県の補助で取り組んでいるが実績は47ha解消。今後は農地流動化を図りながら担い手農家や集落営農での保全が必要だと

考える。

問 里山雑木林の再生化・市民の森づくりモデル事業の推進について問う。

経済部長 本年度から始まる第3期対策の中山間地域等直接支払制度は、集落単位で保全対策を行うことに対し、交付金を支払うことで5年間の耕作放棄地を抑制する制度で、集落説明会を開催し、参加集落を募集する。国・県・市の補助金が活用できる連携を強化し、耕作放棄地の再生に向けて支援する。

「第1次宇城市総合計画基本計画(後期)について」

問 小川町小野部田地区子育て支援住宅の具体的推進について問う。

市長 住宅の必要性及び児童数の減少は地域住民の大きな課題であり深刻な問題である。子育て支援のまちづくりを視野に入れ、交通・就学・生活・環境の利便性を最大限に配慮し、民間資本活用も考慮し、場所等の選定も踏まえ、小学校新築が複式学級にならない状況

をどうつくっていくか積極的に対応したい。

「九州縦貫自動車道小川BSスマートインターチェンジの早期実現について」

問 小川BSスマートインターチェンジ建設に関する協議の推移と今後の見通しについて問う。

企画部長 平成21年6月30日に国土交通大臣から連結許可を受け、一体的に整備するアクセス道路も交付金事業として採択され、水川町、西日本高速道路(株)と連携、協力して事業を進めてきたが、2月5日以降今日に至るまで休止している状況である。今後は水川町議会との合同での勉強会を設けて、両市町の合意形成を図りたい。

高田 幸夫 議員

「核廃絶平和教育について」

問 核廃絶、平和教育について考え方を問う。

市長 日本非核宣言自治体協議会への加入は前向きに検討する。『核兵器廃絶、平和都市宣言』の立て看板は設置に向け検討し、市民

へのアピールは何らかの形で行う。

教育長 8月の夏休みに限定することなく、子どもへ平和教育を行う。

「地域の保健医療、福祉の連携について」

問 地域医療の確立について、救急車の転院率(病院から病院へ)が、この宇城地区の場合、他地区の倍以上の20%近くあることは異常なことと指摘し、このことを解消するためにも、地域医療の確立を県におんぶに抱っこではなく、市としても責任を持つてかわるべきと思うがどうか。

健康福祉部長 県、市、医師会、消防署等で地域医療を考える広域的な体制づくりを進めていく。

「道の駅周辺の土地利用について」

問 道の駅うき周辺の土地利用計画を、市として持つべきと思うがどうか。

市長 道の駅及び宇賀岳病院建設予定地周辺は、市にとつて交通便利性が高い地

域である。市の発展に向け有効的な土地利用を図りたい。

問 物産館「宇城彩館」付近のレストラン建設はどうか。

市長 食事や休憩するレストランの建設計画も一つの選択肢として考えている。

「保育行政について」

問 公立保育園の職員は正規職員が25%程度しかない。責任ある保育はできないと思うがどうか。

市長 保育士職員の退職者補充については、来年度採用を予定している。



「水田農業地帯の排水対策について」

問 松橋町豊川北部地域の冠水常襲地帯の解消はどうするのか。

経済部長 豊崎にある第3排水機場の能力を、現在の約2倍の毎秒7.8tまで上げる計画となっている。

平成22年第1回臨時会の概要 (平成22年5月14日)

○選挙

第1号	議長の選挙
第2号	副議長の選挙
第3号	宇城広域連合議会議員の選挙
第4号	上天草・宇城水道企業団議会議員の選挙

○議員提出議案

第3号	常任委員の選任
第4号	議会運営委員の選任

○その他

農業委員の推薦について

○市長提出議案

第31号	工事請負契約の締結について (小野部田小学校改築工事) 他1件	可決
------	------------------------------------	----

○承認

第2号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (税条例の一部を改正する条例の制定) 他3件	承認
-----	---	----

○報告

第2号	平成21年度宇城市下水道事業会計予算 繰越計算書の報告について 他1件	報告
-----	--	----

○同意

第6号	監査委員の選任について (岡本 泰章議員)	選任同意
-----	-----------------------	------

議会の構成 (◎は委員長 ○は副委員長)

議会運営委員会 ◎石川 洋一 ○入江 学 椎野 和代 中村 友博 松下 倫三 西村 智 松野 孝敏 岡本 泰章	総務常任委員会 ◎高田 幸夫 ○渡邊 裕生 椎野 和代 橋田 和征 西村 智 長谷 誠一 石川 洋一	建設経済常任委員会 ◎松下 倫三 ○園田 幸雄 尾崎 治彦 松野 孝敏 堀川 三郎 岡本 泰章	民生常任委員会 ◎坂本 順三 ○福永 貴充 溝見 友一 五嶋 映司 中村 友博 入江 学 豊田紀代美	文教常任委員会 ◎大嶋 秀敏 ○福田 良二 河野 正明 河野 一郎 永木 伸一 中山 弘幸	農業委員 松下 倫三 中村 友博 福田 良二 大嶋 秀敏
小川BSスマートインター整備特別委員会 ◎福田 良二 溝見 友一 橋田 和征 長谷 誠一	○椎野 和代 大嶋 秀敏 西村 智 岡本 泰章	熊本天草幹線高規格道路整備特別委員会 (※) 河野 正明 坂本 順三 松下 倫三 中山 弘幸	渡邊 裕生 中村 友博 堀川 三郎 石川 洋一	戸馳大橋整備調査特別委員会 (※) 福永 貴充 河野 一郎 松下 倫三 堀川 三郎	尾崎 治彦 坂本 順三 松野 孝敏 石川 洋一

(※) 正・副委員長は、後日互選されます。

市議会を傍聴しませんか?

次の定例会は、9月開会予定です。
日程などの詳細は、議会事務局 (TEL32-1111) までお問い合わせください。

議会の主な動き

平成22年5月1日

平成22年8月14日

5月14日	平成22年第1回宇城市議会臨時会・議会運営委員会・各常任委員会
5月17日	議会運営委員会
6月4日	議会運営委員会
6月11日	平成22年第2回宇城市議会定例会開会 (23日まで)
6月15日	議会運営委員会
6月17日	総務常任委員会・建設経済常任委員会
6月18日	民生常任委員会・文教常任委員会
6月30日	西原村議会行政視察来庁 三重県四日市市議会行政視察来庁
7月5日	新潟県聖籠町議会行政視察来庁 (7月6日まで)
7月9日	小川BSスマートインター整備特別委員会
7月16日	小川BSスマートインター整備特別委員会
8月10日	戸馳大橋整備調査特別委員会 議会運営委員会

再生紙使用



環境保護印刷の水なし印刷で印刷しています。

印刷/敷島印刷株式会社